教育広報

# かけはし

第10号　平成５年７月13日発行
発行　千代田区教育委員会

生徒全員がコンピュータを学ぶ　（練成中）

主な記事

☆大きく変わる中学校教育
―指導目標、選択教科、授業時数―
☆体験を通して学ぶ　Part.Ⅰ
―国際理解教育、小・中学校移動教室―
☆さあ　楽しい夏休み
―総合体育館・学校プールの無料開放―

情報化時代に活躍する人間にとって、コンピュータの操作技能の習得は欠かせません。

中学校の技術・家庭科では、操作を通して、その役割と機能を学び、適切に活用する能力を身に付けます。

＊教育広報「かけはし」は資源保護のため再生紙を使用しています。

# 大きく変わる中学校教育

平成元年の幼稚園教育要領の改正に始まった学校教育の改善は、昨年度は小学校、本年度は中学校というように段階的に進められています。

学校を取り巻く社会の状況や、それに伴う子供達の生活や意識は大きく変化してきました。その変化に対応すると共に、二十一世紀を目指して教育改革が進められているのです。

今回、中学校の教育がどのように変わったかについて、その要点をお知らせします。

## 社会の変化に主体的に対応できる心豊かな人間を育成します

今回の改訂は、昭和六十二年十二月に行われた教育課程審議会の答申に基づいています。

その主なねらいは、次の四点です。

① 豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成を図ること

② 自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を重視すること

③ 国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視し個性を生かす教育の充実を図ること

④ 国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視すること

この答申を受けて、中学校学習指導要領が改訂され、本年四月から全面実施されることとなりました。

各教科等の学習指導にあたっては、体験的な活動を重視し、生徒の興味や関心を生かし、自主的、自発的な学習をすすめて、思考力・判断力・実践力等を身に付けていきます。

▲LL教室を活用した英語の学習。先生方も新しい指導法の開発に取り組んでいます。（練成中）

## 九段中学校２年

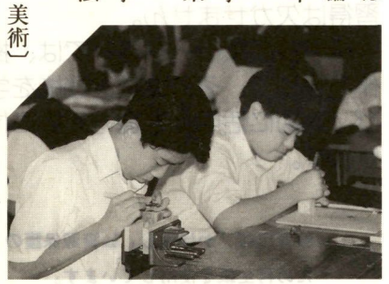
必修教科の音楽、保健体育、技術・家庭では、基礎的・基本的なことを学習し、選択教科では、それを基礎にして学習を深め、個性や能力を伸ばすことをねらいとしています。

音　楽…民族楽器の演奏　混声合唱
美　術…絵画　工芸（印鑑や年賀状）
保体①…陸上競技　基礎体力の向上
保体②…バスケットボール
技　術…空気エンジン自動車・センサーライト・インターホンの製作

必修教科とは違った学級を編成します。一年間を通して週一時間学習し、学習の状況や成果を評価します。

クラブとは学習の内容・方法が異なります。

〔写真は音楽、美術〕





## 選択教科の種類を大幅に拡大しました

中学校の教科には、必修教科と選択教科とがあります。必修教科では、すべての生徒が義務教育として必要な内容を学習し、選択教科では、個々の生徒が自分の特性に応じて選択し、学習します。

今回の改訂では、生徒の個性を生かす教育の充実を図るということから、選択教科の種類が大幅に拡大されました。

各学年の選択教科は次の通りです。

［第一学年］外国語

［第二学年］音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語

［第三学年］国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語

（線を引いたものが、新たに加わった教科です）

▲電子ルーレットの製作。前期は電気製品の製作、後期はパソコンの操作を中心に学習を進めます。（九段中・3年、技術科）

具体的に講座の数をいくつにするか、どんな内容にするかなどは、各学校が生徒の特性や地域・学校の実態に応じて決めることになっています。

また、生徒一人一人が選択する教科の数は、第一学年・第二学年では1以上、第三学年では2以上となっています。（外国語を含む）

今回は、九段中学校第二学年、一橋中学校第三学年の例を掲げましたのでご参照ください。

## 各教科等の授業時数は各学校が創意を生かして決めます

中学校の年間の総授業時数は一〇五〇時間で、各学年とも同じです。また、一単位の授業時間は五〇分間です。

小学生と比べて、中学生はいっそう個性的になり、個人の興味・関心が多様になります。学年が進むにつれて選択する教科の幅が広がるのもそのためです。

そこで、各学校が生徒の実態等を考慮し、創意工夫を生かして、一定の範囲内で、各教科等の授業時数を決めることができるようになっています。

第三学年では、左のようになっています。

**第３学年の授業時数**

| | | |
|---|---|---|
| 必修教科 | 国　語 | 140 |
| | 社　会 | 70～105 |
| | 数　学 | 140 |
| | 理　科 | 105～140 |
| | 音　楽 | 35 |
| | 美　術 | 35 |
| | 保健体育 | 105～140 |
| | 技術・家庭 | 70～105 |
| 道　徳 | | 35 |
| 特別活動 | | 35～70 |
| 選択教科等 | | 140～280 |
| 総授業時数 | | 1,050 |

## 一橋中学校３年

外国語のほかに、全教科にわたり、十七講座を設けました。

生徒は、この中から二講座を選択し、年間を通して週二時間、月曜日と水曜日に学習します。

国　語…文芸（鑑賞・創作）
社会Ⅰ…日本の歴史の中の千代田区
社会Ⅱ…資料からわかる歴史
数学Ⅰ…基礎数学
数学Ⅱ…英文による数学
理科Ⅰ…物理科学（電気・力・光等）
理科Ⅱ…物理科学（原子・分子・DNA）
音楽Ⅰ…合唱
音楽Ⅱ…リコーダーアンサンブル
美術Ⅰ…絵画（版画・水彩画・油絵）
美術Ⅱ…工芸（焼き物・木工・金工）
体育Ⅰ…バスケットボール
体育Ⅱ…バレーボール
体育Ⅲ…陸上競技・水泳
体育Ⅳ…武道（柔道・剣道）
技術Ⅰ…製図
家庭Ⅰ…手芸（刺しゅう）

〔写真は、美術Ⅰ、理科Ⅱ〕

# 体験を通して学ぶ

## Part. I

## 国際理解教育

科学技術の進歩に伴い、子供達の身の回りには、映像・音声・文字などによる情報があふれています。その様々な情報の中から、自分に必要なものを的確に選択し活用することは、現代人にとって必要な資質の一つです。

一方、身近な問題に対して興味と関心を持ち、自ら意欲的に解決していく力を身につけていくことは、生涯にわたって重要なことです。事物現象に直接触れ、感じ・考える活動は、幼稚園は勿論(もちろん)、小・中学校でも重視しています。これによって、学ぶ楽しさ、柔軟な思考力、豊かな創造性が培われます。

国際化が進む中、次代に生きる日本人としては、諸外国の人々の生活や文化を理解し尊重するとともに、我が国の文化と伝統を大切にする態度を身につけることが必要です。外国の人々の考え方や生活習慣・態度などは、直接接することによって、より深く理解することができます。千代田区の各学校には、多くの外国の方々が視察に訪れます。学習のよい機会です。去る五月、中学生海外交流教育の一還として、ニューヨーク市パウロ中学校の生徒十名が本区を訪れました。

▲区役所正面玄関で、パウロ中学校の生徒を迎え、手紙と花束を渡しました。とても緊張しました。（千代田富士見幼）

▶千代田区長を表敬訪問。パウロ中学校の生徒一人一人が覚えたての日本語で自己紹介をしました。

▲生徒会が中心となって歓迎会を開きました。一緒に学校生活を送ることは、相互に理解を深めるよい機会です。（練成中）

▲全校で中学生を迎える集会を開きました。歌を歌ったり、ゲームをしたり、折り紙を折ったりして、楽しく過ごしました。（千代田富士見小）

▲クラブ活動で英会話を教えてくださっているカナダのペターソン先生も一緒になって、鶴を折りました。日本の美をちょっぴり伝えた気持ちになりました。（千代田富士見小）

▲一年生が、国語の学習を見てもらいました。後ろの中学生の視線が気になりました。（千代田富士見小）

国際理解教育は、学校行事や集会活動の分野だけではなく、日ごろの各教科の学習の中でも、積極的に取り上げています。

区立のすべての中学校においては、外国人講師による外国語の指導が行われています。

今年から小学校にも派遣されています。

▲机を並べて、社会科の学習をしました。日本語のワークシートに意欲的に取り組んでいました。（九段中）

◀スミス先生による英会話の学習です。手作りの教材で、丁寧に教えてくださるので毎回楽しみです。（九段中）

▼嬬恋村立東中学校の交流会に参加。パウロ中学校の生徒にとって、都市と農村での体験は、日本を理解するのに役立ったことでしょう。

▶一人一人が、去年訪米した生徒の家庭で、日本の家庭生活を体験しました。

# 小学校 箱根移動教室

五月中旬から六月中旬にかけて、六年生全員が参加し、学校ごとに、二泊三日で実施しています。

箱根は、新緑の美しい時期です。

社会科では、「日本の歴史」の学習が進められています。そこで、東海道の石畳を歩き、石仏群・杉並木・関所跡・箱根神社・深良水門などを見学することによって、箱根の移り変わりや先人の働きについて関心を深めます。

▲箱根の伝統工芸〝寄木細工〟を学ぶ(昌平小)

理科では、箱根の地形や岩石、火山活動の様子などを観察し、土地のでき方を調べます。

まず、駒ヶ岳の頂上に立ち、四方を眺め、地形や植物など箱根全体の様子を観察します。その後、各地を回って、土地をつくっている物の特徴や、水の働き、火山活動を調べ、土地のつくりとでき方について、自分の考えをまとめます。

学習したことの発表会も開きます。

六年生にとって、この移動教室は小学校最後の宿泊を伴う活動です。よい思い出となったことでしょう。

大涌谷での"火山の学習"(昌平小)

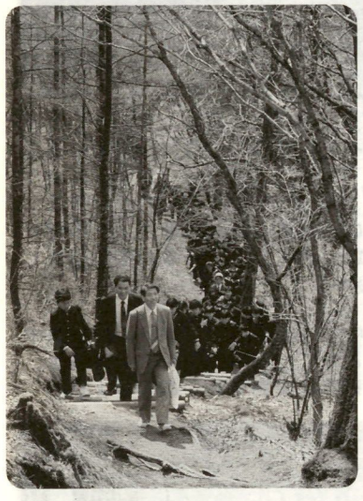
# 中学校 軽井沢移動教室

五月の軽井沢はようやく春が訪れてきたといった感じです。

中学校に入学して約一か月の一年生にとっては、ようやく友達と打ち解けてくる時期です。

この二泊三日の移動教室は、中学校生活の土台となる先生・友達との人間関係を築く大切な場となります。

浅間山とその周辺の自然の観察、軽井沢の歴史・地理を調べる学習、「軽井沢少年自然の家」での団体生活を通して、先生や友達との心の交流を図り、集団生活の規律を身に付けます。



◀早春の自然にひたる(一橋中)

見学地や活動内容は学校によって異なりますが、主なものは次の通りです。

☆峰の茶屋、白糸の滝付近の自然歩道ハイキング
☆野鳥の森オリエンテーリング
☆五光牧場や浅間牧場見学
☆小諸懐古園の見学
☆嬬恋村営グラウンドでのスポーツ大会
☆群馬の森、歴史博物館の見学

▲浅間牧場で、自然を描く(一橋中)



# さあ 楽しい 夏休み みんなそろって 体力づくり

もうすぐ夏休み。みんなそれぞれに友だちや家族との楽しい計画を立てていることと思います。

教育委員会では、小・中学生の皆さんが身近な場所で気軽に体力づくりができるよう、体育館やプールを無料で開放します。暑さに負けず体を鍛え、心身共にたくましくなって二学期を迎えましょう。

## 〈総合体育館の無料開放〉

◎対象―区内に在住・在学している小・中学生
(区民利用カードを持参して下さい。まだお持ちでない方は、当日体育館の窓口で申し込んで下さい。)
※付添の大人は有料となります。

| 種目 | 期日 | 時間帯 |
|---|---|---|
| ＊バレーボール | 7/22,24,29,8/5,12,19,26,28 | 午後 |
| バドミントン | 7/27,8/3,7,10,17,24,31 | 午後 |
| ＊水泳 | 7/21～8/31 (月曜,8/20を除く毎日) | ①午前9時～11時<br>②正午～午後2時<br>③午後3時～5時 |
| ＊バスケットボール | 8/21 | 午後 |
| 卓球 | 7/22～8/31の火・木・土曜(7/31,8/14を除く) | 午後 |
| | 7/25,8/1,22 | 午前・午後 |
| 相撲・剣道 | 7/24,8/7,21,28 | 午後 |
| | 7/25,8/1,22 | 午前・午後 |
| 柔道 | 7/25,8/1,22 | 午前・午後 |
| 空手道 | 7/24,8/7,21,28 | 午後 |
| ＊弓道 | 7/24,8/7,28 | 午後 |
| | 7/25,8/22 | 午前・午後 |
| ＊アーチェリー | 8/1 | 午前・午後 |
| | 8/21 | 午後 |

午前;9：00～12：00　午後;1：00～5：00
＊印の種目は、小学生の場合一定の条件があります。
☆毎月第3日曜日は全館無料開放日です。

## 〈学校プールの無料開放〉

〔昼間の部〕
◎時間―午後1時30分～3時30分
◎対象―小学生以上
(幼児が利用するときは、保護者の同伴が必要)

| 場所 | 期間 |
|---|---|
| 千代田九段小 | 8月7日～11日 |
| 昌平小 | 8月7日～13日 |
| 千代田富士見小 | 8月9日～13日 |
| 和泉小 | 8月9日～13日 |
| 千代田麹町小 | 8月9日～15日 |
| お茶の水小 | 8月7日～13日 |
| 千代田小 | 8月13日～17日 |
| 千代田番町小 | 8月18日～24日 |

〔夜間の部〕
◎時間―午後6時～8時
(＊印の学校は午後6時30分～8時30分)
◎対象―中学生以上
(小学生以下が利用するときは、保護者の同伴が必要)

| 場所 | 期間 |
|---|---|
| ＊千代田九段小 | 8月7日～16日 |
| ＊一橋中 | 8月7日～16日 |
| 和泉小 | 8月9日～13日 |
| 麹町中 | 8月10日～19日 |
| 練成中 | 8月11日～20日 |

〈問合せ〉
総合体育館〔内神田2－1－8〕☎(3256)8444

## 映画会のお知らせ ● ● ●

図書館では、夏休みの期間中、下記のとおり映画会を開催します。子供から大人まで一緒に楽しめる作品を用意しました。家族の皆さんと一緒に映画鑑賞はいかがでしょうか。〔入場は無料です〕

〈問合せ〉
千代田図書館　☎(3264)0151
四番町図書館　☎(3239)6357

| 日程 | 上映開始 | 映画の題名 | 会場 |
|---|---|---|---|
| 7月25日(日) | 午後2：00 | 赤毛のアン（吹き替え版） | 四番町図書館 |
| 8月1日(日) | 午後2：00 | TタイムPパトロールぼん（アニメ） | 四番町図書館 |
| 7日(土) | 午後1：30 | 魔女の宅急便 | 九段社会教育会館 |
| 7日(土) | 午後2：00 | 子熊物語 | 四番町図書館 |
| 15日(日) | 午後2：00 | 風が吹くとき（アニメ） | 四番町図書館 |
| 22日(日) | 午後2：00 | 彼岸花 | 四番町図書館 |
| 29日(日) | 午後2：00 | ネバーエンディングストーリー(吹き替え版) | 四番町図書館 |

## きょういく随想

# 給食あれこれ

教育委員
小林泰而

私が小学生であった昭和十年前後は、三年生の虚弱児童のみを対象とした給食があっただけで、大多数の子供達はお弁当の毎日であった。たまに家の都合でお金を貰ってパン屋に走ることもあったが、そんな時は自分の好みのものを選べることが嬉しかったものである。

さて、学校給食は明治二十二年に山形県の私立忠愛小学校が最初で、当初は貧困児童の救済がその目的であった。一般的には、昭和二十二年のララ物資による一食六〇〇カロリー以上の給食が始まりである。時代とともに給食は充実したものとなっていったが、その間における社会の変化や家庭環境の変化も見逃せない。こうした中で、昨年、埼玉県庄和町における学校給食の廃止問題に端を発し、給食の是非が議論を呼んだが、これも学校給食が国民生活の中に広く定着している一つの証しであるともいえよう。

集団給食の大きな利点としては、栄養学的な食教育のみならず、体育と食育を表裏一体として考える望ましい教育ができることがあげられる。

昭和六十一年に東京都教育委員会が、都内四校で、給食のある日とない日に分けて児童の一日の栄養摂取量を調査した。その結果、給食のある日はおおむね所要量に達しているが、給食のない日にはカルシウムとビタミンB2が不足し、しかも栄養のアンバランスが大きいということである。これは、家庭＝母親の気配りや嗜好などにより食事内容が決められるためと考えられる。

集団給食ではあるが、個別の事情への対応も必要となる。単なる好き嫌いは論外だが、食品アレルギーの問題がある。即ち、卵・牛乳・大豆・魚・ソバを食べると嘔吐、下痢やジンマシンが起きるというものである。稀に頭痛、けいれん、ショックを起こすこともあるから、無視できない。さらに腎臓などの病気による食事制限への対応も求められる。こうした個別の対応には、保護者と学校との緊密な連携が必要である。

食事内容とともに、食生活を豊かにする食習慣やマナーを身につけさせることも給食の重要な目的である。学校給食を通じて子供達が身につけた望ましい食習慣やマナーは、家庭における食生活にも良い影響を与え、卒業後はもちろん、生涯にわたって個人の資質となっていくものである。

心身ともに健康で、日本の将来を任せられる青年を育てていくために、私たちは可能な範囲内で知恵を絞り、給食をよりよいものにしていかなければならない。この機会にもう一度「給食」についてみんなで考えてみようではありませんか。

こばやし　たいじ
昭和59年から教育委員
内科医

## きょういく随想

## 編集後記

新たな幼稚園・小学校が発足してから三か月余りが過ぎ、第一学期もあとわずかで終わろうとしています。

年度の初めごろは、お互いに遠慮したり気を遣ったりしていましたが、慣れるにつれて、自己を表現し、主張するようになってきました。この段階を乗り越えると、しっかりした人間関係ができてくるのです。子供達は今、大変貴重な体験を積んでいます。

第十号は、中学校教育がどう変わったかを主に取り上げましたが、その中でも、個性尊重が大きな柱になっています。幼稚園・小学校で培われてきた自主的・自発的な態度が、更に伸長され、本当に個性豊かな国際人に育つことを願っています。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。

教育広報「かけはし」第十号
平成5年7月13日発行
編集発行／千代田区教育委員会
〒102　千代田区九段南1-6-11
☎(3264)0151　内3114